

5部

オンデマンド・
スクーリングのご案内



在宅で受講可能な「オンデマンド・スクーリング」を下記の科目について、実施いたします。※同一期に複数科目の申込みができます。

[重要]

オンデマンド・スクーリングでは、受講申込みからスクーリング試験提出まで、すべてパソコン上で操作していただきます。

また、オンデマンド・スクーリングのスクーリング試験は、一部の科目を除き、ワードファイルに解答を作成していただき、そのワードファイルをメールに添付して提出していただきます。

本学において、メールの送信、ワードの使用方法などパソコンの一般的な操作方法に関するご質問は受け付けておりませんのでご了承ください。

●今回申込みを募る科目＝オンデマンド・スクーリング 12～14期

期	(注1)			科目名	申込締切	受講開始	受講料 納入締切	スクーリング 試験締切 (正午)	\$単位	受講料		
	～ 20	21 ～ 23	24 ～									
12		■		精神保健福祉の理論	10/11	10/22	11/1	11/13	1	5,000円		
	◆	★		精神保健福祉論Ⅰ(旧カリ)								
		★	■	社会福祉援助技術総論				11/20	2	10,000円		
			心理系	心理学概論								
	◆	★	■	発達障害者の地域支援								
13		★	■	社会福祉援助技術論A	10/18	10/29	11/8	11/27	2	10,000円		
			心理系	障害児の心理								
			■	精神保健福祉の制度				12/4	1	5,000円		
	◆			精神保健福祉論Ⅲ(旧カリ)								
		★	■	福祉経営論								
	◆			福祉施設管理論(旧カリ)								
14	◆	★	■	就労支援サービス論	11/1	11/12	11/22	12/18	1	7,000円		
	◆	★	■	福祉心理学								
	◆	★	■	家族法							2	10,000円
			心理系	統計情報を見る眼								
			特別支援	知的障害者の心理								

(注1) ◆=平成14～20年度入学者 ★=平成21～23年度入学者

■=平成24年度以降入学者向け科目

※ 受講期間中はこまめにメールをチェックしてください（必要事項はすべてメールでご連絡します）。

※ 申込締切日以降に受付手続きを行います。受講申込者は下記のことを確認ください。

送付・連絡物	通知方法	留意点
受講料納入 依頼書	郵送	申込締切後1週間以内に届かない場合は、至急お申し出ください。
試験要領	「TFUオンデマンド」上から自身でダウンロード (受講開始日以降可能)	郵送はいたしません。受講科目のコンテンツ内より自身でダウンロードし、必ず内容（スクーリング試験課題や留意事項等）を確認してから受講してください。
講義資料	郵送 (資料のある科目のみ)	申込締切後1週間以内に届かない場合は、至急お申し出ください。
視聴開始連絡	「TFUオンデマンド」上の「お知らせ」および一括送信メール	受講開始日までに届くことをご確認ください（メールが届いていない方はご自身の受信設定をご確認ください）。

※ オンデマンド・スクーリング申込・受講・単位修得方法やTFUオンデマンド使用方法の詳細は『学習の手引き』10章、概要は2013～2015版 p.11、2009-2011★版および2002-2008◆版 p.9に記載がございます。必ずご理解いただいたうえで受講申込みを行ってください。

● 「2つの講義（試験）は同時に視聴（受験）できません」と表示される場合
『試験・スクーリング 情報ブック2015』 p.61～62に対処方法が掲載されています。

スクーリング・アンケートより(2)

アンケートよりスクーリング講義の感想を抜粋いたしました。

●障害者福祉論

- ・「障害」について深く考えさせられました。優生思想というものがあったことを知り、現代の出生前検査による選択についても考えさせられました。いったい何が正解なのか……大きなテーマについて改めて考えるよい機会となりました。
- ・障害をもっている人のために、良かれと思ってやったつもりでのバリアフリー化が、実際には使えない現実もあるというのは考えたこともなかったです。そういう現状は、私含め世の中に知らない人は多くいると思います。実際に作り始める前に障害者の方から案を見てもらったりすべきだと思いました。
- ・障がいを持つ当事者でなければわからない思いや視点なども学ぶことができ、当事者の声は重要であると感じました。

●発達障害者の心理

- ・発達障害についての知識・理解が大変深まりました。人は何らかの困難をかかえており、障害があってもなくても、お互いが困難を補う役割をもてれば生活がしやすい社会になると感じました。

●心理学実験Ⅱ

- ・この4日間はとても疲れましたが、各先生方の配布資料と実験を通じて①問題②方法③結果④考察の研究の書き方・まとめ方が理解できました。
- ・実験者・被験者双方の経験ができ、実験を行うにあたって様々な配慮がなされていること、被験者には時に心身の負担が伴う可能性があることを実感できました。

●老年心理学

- ・近い将来やってくる親の介護の問題や自分の老年期に対して、どのように自己実現しながら進んでいけるのか考えることができました。これまで経験したことは理解できても、自分が経験していないことを理解することはとても難しいと思うので、学びから少しでも理解していくことが大切だと思いました。
- ・先生の身近な出来事やエピソード等を例に取り上げ説明していただいたので、わかりにくいことも理解がしやすかったです。また理解が深まったことで、自身の仕事上でも、利用者様への接し方に役立てたいと思いました。